

た。この改修において、私自身もビームラインの仕様の選定から、装置のアップグレード方法、移設のスケジュール調整など広く担当させてもらい非常に良い経験ができたと思います。この改修の詳しいことはSPring-8からの記事や論文等で発表しておりますので興味がある方は参照ください。

この改修工事を終えた後すぐに、既存のBL46XUの改修の仕事に取り掛かりました。元々このビームラインにも共用のHAXPES装置があり、一方で、分子研で開発を進めてきたAP-HAXPES装置が2020年にNEDOから理研に移管されていたので、この2台のHAXPES装置をBL46XUに設置して新たな2本目のHAXPES専用ビームライン(HAXPES II)へと改修します。先行したBL09XUとほぼ同様の光学系を備え、また制御ソフト等もできる限り共

通化するなど、ビームライン間の差異を減らし、2本のHAXPES専用ビームラインをユーザーが同じ感覚で利用できるように努めています。こちらの改修工事も順調に進み、2023年にユーザーの供用を再開しました。

これによりSPring-8には共用のHAXPES専用ビームラインが2本誕生し、ユーザーは計4台の最新のHAXPES装置の中から測定の目的に合わせて最適な装置を選び実験を実施することができます（ご興味がある方は私や各担当者にご連絡下さい）。私はこれらのHAXPES装置の中で主にBL46XUにあるAP-HAXPES装置の保守・管理、高性能化およびユーザー対応をしています。私自身が分子研の在籍時に立ち上げた勝手知ったる装置なので、改修後の高性能になったビームラインに合わせて、より良いデータが

得られるように装置を色々と改造しながら日々の研究を進めています。

さて、この原稿を書いている気が付きましたが、分子研の在籍時に、AP-HAXPESの仕事を始めてから転出するまでの期間も6年間でした。そしてJASRIに着任してビームラインや共用のHAXPES装置についての仕事を6年を経たところで、また再びAP-HAXPES装置を担当するということで、偶然ではありまじょうが6年という期間が繰り返されることを感慨深く感じます。そこでこの6年を基準に考えると、定年を65歳として私はあと3回も残っております。まだまだ色々なことが成せるかなと思いつつ、まずはこのAP-HAXPES装置で面白いことをやってみようとワクワクと計画を練っているところです。

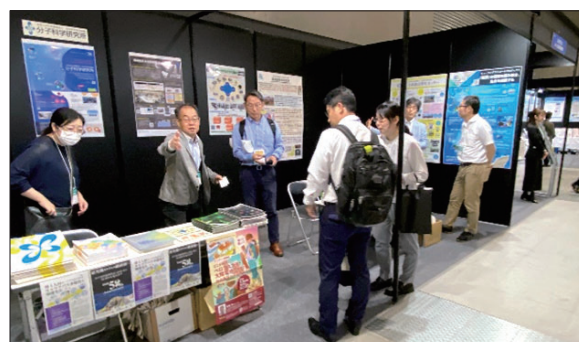
産学連携活動

新あいち創造研究開発成果展示会出展報告

Aichi Sky Expo愛知県国際展示場（常滑市）で6月5日から7日まで開催された「新あいち創造研究開発成果展示会※」に、岡崎3機関（基生研、生理研、分子研）とExCELLS が合同で出展いたしました。昨年度は、「あいちモノづくりエキスポ2023」として、Smart City Park from AXIA EXPOとの同時開催で2日間にわたって行われました。

今年度も、AXIA EXPOとの同時開催ですが、期間が3日間となり、来場者は昨年度の2倍以上の1.1万人を超える盛況ぶりでした。AXIA EXPO出展の各企業の次世代エネルギー、次世代通信やGX（グリーントランスフォーメーション）へのブース訪問、特別講演、セミナーの合間に、多くの来場者が新あいち創造研究開発成果展示会へも足を運んでいただきました。機構のブースへの訪問者は100名程度でしたが、昨年度に比べて、展示会に出展している企業等の方のほか、地元岡崎の企業の方を含む多くの方にも立ち寄っていただけたので、より岡崎3機関について知っていただく良い機会にもなったのではないかと思います。出展にあたり、岡野泰彬様（UVSOR）、近藤聖彦様（装置開発）ほかご協力いただいたみなさまに、この場を借りてお礼申し上げます。（戦略室産学連携担当 記）

※新あいち創造研究開発成果展示会は、令和4年12月に愛知県と岡崎3機関が、基礎科学を中心とした科学技術の発展、産業の振興に向けた取組にかかる相互間の連携に関する協定を締結したことを契機に、岡崎3機関が県の新あいち創造研究開発補助金の共同研究対象機関となったことを受けて、出展企業や同時開催のイベント来場者に岡崎3研究所について広く知ってもらうために、令和5年度から出展しているものです。



ブースでの訪問者対応の様子